

ひのはら

# アートプロジェクト

## - 芸術と自然と東京 -

### HINOHARA ART PROJECT β

#### ART, NATURE, and TOKYO.

何故、多くの都会の民が、東京の村に関係したがるのか？  
 里山が持つ吸引力をアートの子カラで増幅する、最初の試み（β）の美術展示プロジェクト。  
 Why do so many city dwellers want to have a relationship with a village located in the Tokyo Met?  
 This field exhibition is the first trial (β) to amplify the attractiveness of the village "Hinohara" through the creativity of art.

アートと  
村を巡る  
ワンデーバスツアー  
12.25(土)  
武蔵五日市駅 発  
詳細は WEB もしくはお問い合わせ先へ  
開催!

2021年 12月18日(土)~29日(水)

公開時間 TIME 11:00~17:00 会期中無休

共通入場料 FEE 500円 中学生以下無料/介添者1名無料

会場 VENUE ※両会場間は1キロの道のりです WEB <http://hinohara.pro>



### 東京都檜原村内特設会場2カ所

Various Site of Hinohara Village, TOKYO

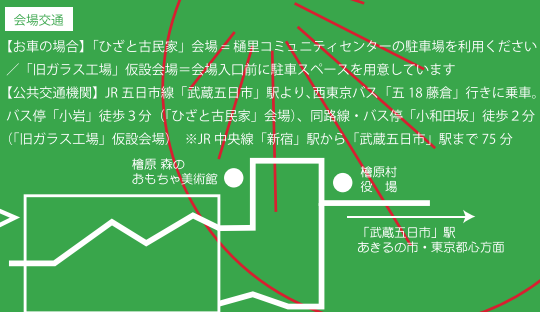
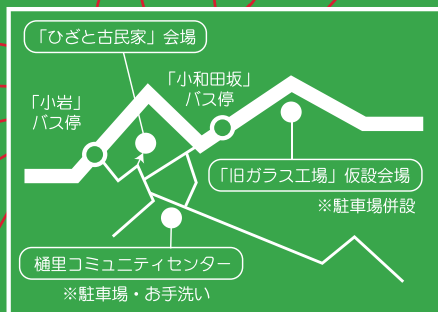
「ひざと古民家」会場 檜原村樋里4258番地

「旧ガラス工場」仮設会場 檜原村小沢4034番地

#### 出展作家 ARTIST

ひざと古民家会場 小城開人 | 菅谷杏樹 | 副島しのぶ  
 KOJO Kaito | SUGAYA Aki | SOEJIMA Shinobu

旧ガラス工場仮設会場 AO. | 池城安武 (ひざと古民家会場と両会場で展示)  
 AO. | IKESHIRO Yasutake



ごあいさつ

ひのはらアートプロジェクトβ ディレクター

岡田智博 OKADA Tomohiro

「人新生」ということばに現れるようなのびきならない人類のやり尽くすかのような進歩に対して、手触りや独自の創造性が奪ばれる現在。さまざまな人々が、都会の殺伐とした煌めきよりも、山や島や野の包み込む豊かさに可能性を求め、そこから新たなアートやクリエイティブが生れるようになっていきます。そんな各地で才能が紡ぐ新たな「豊かさ」を、TOKYO の村である檜原でつなぎ、より豊かな郷の可能性を耕しあう最初の一步、それが「ひのはらアートプロジェクトβ」です。

檜原、八重山、どこでもない郷、そんなさまざまな郷から獲れた「アート」を、里山の中でられることを通じて、その可能性を多くの方々と共に共有することができればと考えています。



photo: Joi Ito



小城開人 KOJO Kaito

ひざと古民家  
会場

TITLE サステナブルアンサステナブルコミックス

どこかの森の中に鉄で作られたマンガが常置されています。本作では、森に置かれた造形物をマンガの「原稿」に、それを撮影した画像を「出版物」に見立てます。「原稿」の在り処は明かさず、「出版物」だけが展示されます。目の前にあるものと、ここではないどこかにあるもの、その両立を確かめなおすことが本作の目論見です。

PROFILE

ある瞬間、この水滴が落ちるところを見た者はこの世界で自分一人だけに違いないと思う。同時に、そもそも自分が見てきたすべての眺めは僕一人だけが見たものだと気づく。普段は意識されないくらい自明な物事と今一度向き合うことで、むしろ認識が転倒するような経験をもたらず表現を目指す。



サステナブルアンサステナブルコミックス



菅谷杏樹 SUGAYA Aki

ひざと古民家  
会場

TITLE 霧を縫う—Sew the haze

檜原村でも盛んであった「養蚕」は日本の近代化を支えた重要な産業であった。人々は「オコサマ」とよばれる虫を、家の中で大切に大切に育てた。大量の虫を育て、共に暮らす生活とは一体どのようなものだったのだろうか。本作はその失われてしまった生活と、感覚を、自身の祖母の記憶を通して探るものである。

PROFILE

2019 年より東京都檜原村に拠点を移し、養蜂、養蚕、農業を実践しながら、人間中心主義以前の異種との生活や、共生の精神を探ることによって未来の可能性を模索する。主に自然物を使用したインスタレーションを制作。CAF 賞 2018 入選、広島竹原芸術祭 2018 審査員優秀賞受賞。東京藝術大学先端芸術表現科修士課程在籍。



霧を縫う—Sew the haze



副島しのぶ SOEJIMA Shinobu

ひざと古民家  
会場

TITLE 鬼とやなり

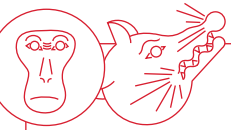
昔から、この国ではどこかの家にも妖怪家鳴りが住んでいた。しかし、徐々に衰退していく木材建築の家々には、もはや耳の遠い老人たちが住んでおらず、家鳴りの声も聞こえない。家鳴りは時々、それを寂しく思う。本作は、現代社会から取り残されていく老人と民間伝承の生き物を、影と光の効果を使って描いた映像作品である。

PROFILE

立体・アニメーションを制作。アジアの民間伝承や民族文化のリサーチを通じて、あらゆる民族や時代にかかわらず人々が共有するイメージを取り入れた、ナラティブな映像表現を試みる。第 22 回メディア芸術祭審査員推薦作品や、aam2018 木村絵理子賞をはじめ、カナダやポーランドなど国内外の映画祭で上映される。



鬼とやなり



池城安武 IKESHIRO Yasutake

ひざと古民家会場  
旧ガラス工場仮設会場

TITLE ヒージャーを檜原村に連れてきた

八重山の日常にいるヒージャー（島ヤギ）たちに島の模様をつけて新しい風景をつくっている。TOKYO では、エコということで草刈りにヤギのレンタルが流行っているらしい。なら、東京と自然の間の芸術という新しい風景のために、ヒージャーたちをレンタルさせてみよう。（文：岡田智博）

PROFILE

沖縄県石垣市生まれ。琉球大学法文学部人間科学科卒業後、ロンドンへ留学。帰国後からシルクスクリーン版画制作をはじめ。2011 年に地元石垣島にて株式会社イグスクモード設立。沖縄県内公募展入選入賞歴多数。2017 年沖展版画部門 沖展賞受賞。沖展準会員。



ヒージャーを檜原村に連れてきた



Ao.

旧ガラス工場  
仮設会場

TITLE Ao. TBT-1

東京で伐採された良質な無垢材を職人の手作業により丁寧に繋ぎ合わせた大きな机。

TITLE TOKYO KIKORI BROTHERS

東京の山林の木々から街路樹、私有地の巨木の伐採など、東京の森を育てる林業従事者の伐採現場を撮影し、アーカイブするプロジェクト。

PROFILE

Sustainable brand made in Tokyo!

「Ao.」は、檜原村を含む TOKYO から産出した無垢の材木を藍染した家具を制作するメイドイントーキョーのデザインプロダクトコレクティブです。

TOKYO で伐採され選りすぐられた材木を活かし、確かな職人の手作業により加工され、伐採・製材・加工・染色・デザインの全てを、TOKYO という一つの地域で行うことを目的としたサステナブル・デザインを実現しています。

<http://ao-design.tokyo/>

Ao.



Ao. TBT-1

TOKYO KIKORI BROTHERS